

昭和九年九月三日

勤勞日本党  
中央執行委員會

別記

罷業宣言

我々日本交通従業員組合は現下日本の内外非常時に於ける帝都の治安と五百萬市民諸君の福祉を憂慮し遂に總後の市電更在非常に於し極力平和裡に解決せんとして第一段に市電更在共同委員會の設置を提唱し、第二段として初任級引上要求等を為したるも不幸にて当局の容る、宛とす不道徳な如き事態は急轉直下して、最早拾収すべからざるに至る。親愛なる東京市民諸君に於しては誠に恐縮に堪へざるも我等の頭上は降りかゝる火煙は拂はざるを得ず。乞ふ 恕せよ。憶ふに我等は修理を盡したる平和工作は破れを我等は茲に敢然として明五日始業よりストライキを遂行し